

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

清須市地域公共交通計画の評価等結果 (令和7年4月～令和8年3月)

目標		目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
隣接市と連携した鉄道の更なる価値向上	鉄道の利用者数(年間) (R7目標値) 756万人	隣接市と連携した鉄道線の利用促進	鉄道事業者より	利用者数7,789,695人(乗車数) JR 3,009,246人、名鉄 4,572,964人、城北線 207,485人	・鉄道の利用者数は目標を達成した。 → 引き続き鉄道事業者と連携し、利便性向上策や情報提供を実施する。	
あしがるバスの効率的な運行と移動利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・収支率: 7.9%(R7) ・年間利用者数: 92,500人(R7) ・1便あたりの利用者数: 5.7人(R7) ・利用者1人あたりの市の財政負担額: 900円(R7) 	あしがるバスの運行あしがるバスのルート・ダイヤの継続的な改善	運行事業者からの実績報告	<ul style="list-style-type: none"> ・収支率: 7.6% ・年間利用者数: 86,641人 ・1便あたりの利用者数: 5.4人 ・利用者1人あたりの市の財政負担額: 1,037円 ・利用者数は目標値を下回り、前年度比でも、減少となった。 ・原油価格の高騰により燃料油費が高止まりしているなか、あしがるバスの利用者数の減少による運賃収入の減少により、収支率は目標を達成できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍前の状況を上回った令和6年度から引き続き利用者は減少した。ルートごとに傾向のばらつきがみられた。 ・利用者1人当たり財政負担額については、1,037円となった。前年度と比較しても大幅に増加した。 → 今後は、利用方法やバスロケーションシステム等を継続的に周知し、市民・利用者への定着を図る。また、利用するきっかけづくりとして利用促進施策を実施し、利用者数の増加を目指す。 	下記により収支率の目標が減少している。 ・平成30年10月の路線増加 ・人件費等の高騰による通行経費の増加見込
	あしがるバスを利用したことがある人の割合: - (R7)					
鉄道・バスを利用できない障害者・要介護者等を対象とした移動手段の確保	タクシー料金助成制度の継続実施	タクシー料金助成制度の実施	担当課へ聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> ・実施 ・問題なく実施できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者に対するタクシー料金助成制度及び福祉有償運送制度を継続して実施し、適切な運用を図った。 → 今後も福祉の推進、外出機会の確保・増加を図るとともに、障害者や要介護者等に対する安全・安心な輸送サービスを確保するため、継続実施に努める。令和8年度からは高齢者の外出支援を目的とし、85歳以上の高齢者を対象にタクシー利用料金の一部を助成する。 	
	福祉有償運送制度の継続実施	福祉有償運送制度の適切な運用				
市内観光施設を巡る移動手段の確保	レンタサイクルの利用者数(年間): 230人(R7)	レンタサイクル事業の実施	担当課へ聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> ・306人 ・清洲城の入場者数は増加しているほか、レンタサイクルの認知度の高まりもあり、目標を達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光部門の施策と連携し、レンタサイクルの認知度向上を図ることができた。令和7年5月から西枇杷島福祉センターにも貸出・返却ポイントが追加され、利用者が増加した。 → 引き続き観光誘客の促進と合わせた事業の周知に努める。 	

清須市地域公共交通計画の評価等結果（令和7年4月～令和8年3月）

目標		目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
地域公共交通に関する積極的な意識啓発	利用促進イベント等の開催回数：3回以上 (R7)	公共交通利用促進イベントの開催	各イベント等の記録データより	<ul style="list-style-type: none"> ・3回 ・小学校での乗り方教室を2回実施した。乗車体験をすることで認知度向上を図った。 ・令和8年3月の春日五条川さくらまつりにおいて、PRブースを設置して認知度の向上及び利用促進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り方教室でより多くの児童に親しみやすさを感じてもらえる内容とする。 ・利用促進事業の開催により、バス利用の機会創出やバスロケーションシステムを知っていただききっかけとなった。 ・市ホームページに、名古屋タクシー協会HPへのリンクを掲載し、運賃や各種割引、配車アプリ対応等を周知した。 → イベント等は、多くの新規利用者が見込まれるため継続して実施し、利用促進に努める。 	
	あしがるバスを利用したいと思った人の割合：90%以上 (R7)	あしがるバスの乗り方に関する周知		<ul style="list-style-type: none"> ・90% ・小学校での乗り方教室にて実際のバスに乗ってもらい親しみやすさを向上させることができた。 		
	あしがるバス一日無料デーの参加者数：450人程度 (R7)	あしがるバス一日無料デーの実施		<ul style="list-style-type: none"> ・506人 ・昨年に引き続き、過去最大の利用者数を記録した。 		
	タクシーに関する情報発信	タクシーに関する情報発信		市ホームページより <ul style="list-style-type: none"> ・実施 ・名古屋タクシー協会HPのリンクを市HPに掲載し、運賃や各種割引、配車アプリ対応等を周知した。 		
地域公共交通サービスに係る情報提供の充実	バスロケーションシステムの運用	バスロケーションシステムの周知	バスロケーションシステムサイトより	<ul style="list-style-type: none"> ・運用 ・問題なく運用できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムを運用し、バスの運行状況を発信するとともに、お知らせ欄を活用してイベント等を周知をした。これにより、スムーズな情報発信と問合せ対応をすることができた。 → 今後も継続して運用していく。 ・バス情報のオープンデータを適宜更新し、適切な情報を発信した。 → 引き続き、最新のバス情報が提供し、活用を促すよう周知に努める。 ・鉄道駅にバス停の場所を案内する表示を設置するために協議をした。 → 設置・周知を行う。 	
	バス情報のオープンデータ化	バス情報のオープンデータ化の継続実施・利活用	市ホームページより	<ul style="list-style-type: none"> ・実施 ・適切な情報を掲載できている。 		
	鉄道・バスに関する情報提供	鉄道駅におけるバスの情報提供	記録データより	<ul style="list-style-type: none"> ・実施 		
安心・安全かつ円滑・快適に利用できる駅前環境の整備	自転車等放置禁止区域の見回りの実施	自転車等駐車対策事業	担当課へ聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> ・実施 ・問題なく実施できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に自転車等放置禁止区域の見回りを実施し、自転車の放置防止に関する啓発に努めている。 ・清洲駅前土地区画整理事業では、区画道路の道水路築造、埋蔵文化財調査及び移転補償を行った。 ・新清洲駅北土地区画整理事業では、名鉄仮線用地以外の整備が完了した。 → 今後、鉄道高架化事業の進捗に応じて、仮線用地内の整備を進めていく。 	
	・土地区画整理事業の推進 (JR清洲駅)	駅前の土地区画整理事業		<ul style="list-style-type: none"> ・実施 ・問題なく実施できている。 		
	・鉄道高架整備事業の推進 (名鉄新清洲駅)	名鉄新清洲駅周辺の鉄道高架事業		<ul style="list-style-type: none"> ・実施 ・問題なく実施できている。 		

清須市地域公共交通計画の評価等結果（令和7年4月～令和8年3月）

目標		目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
市民・交通事業者・行政の協議の場づくり	・地域公共交通会議の開催時期・回数：3回(H30)→3回以上(5月・10月・3月)(R7)	地域公共交通会議の開催	地域公共交通会議の会議資料	・3回(6月・11月・3月) ・参加している ・地域公共交通計画のスケジュールに基づいて適切に開催された。	・令和7年度は、ルート・ダイヤ改正に向けた市民アンケート及びニーズ調査内容の検討と実施。また、コミュニティバス停留所の変更に伴う地域公共交通計画別紙の変更を適正に行った。 → 今後も、第2次清須市地域公共交通計画に基づき、適切に会議を開催するとともに、交通事業者との連携深化を図っていく。 令和8年度も3回の開催を予定する。	
市民ニーズの把握	市民アンケート調査の実施	市民アンケート調査の実施	・コミュニティバス車内に調査員1名を配置し、利用者への調査票の直接配布、バス車内降車口での回収。適宜、直接聞き取りを実施。 ・住民基本台帳から無作為で20歳以上の市民2,000人を抽出。	・実施 ・市民の意見を収集し、まとめることができた。	・計画通り市民の意見を収集し、まとめることができた。 → 令和8年度はルート・ダイヤ改正に向けて、アンケートで収集した意見を参考にニーズに対応した改正を行う。	

(記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(〇年〇月～〇年〇月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果(議事録等)等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。